

第二外科に、過去に通院・入院された患者さんへ (臨床研究に関する情報)

当院では、香川大学医学部附属病院が代表となり実施している以下の臨床研究への協力を行っております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、研究代表施設の香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ており、浜松医科大学においては、上記「倫理指針」の定めに従い、研究対象となる方等より拒否の意思表示がされない限りにおいて、この研究へ当院の患者さんの診療情報を提供することについて、許可されております。

[研究課題名] 外傷性膵損傷の診断方法、治療方針、予後に関する全国調査

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究代表者名・所属]

鈴木 康之 (香川大学医学部附属病院消化器外科、教授)

[研究責任者名・所属]

安藤 恭久 (香川大学医学部附属病院 消化器外科、病院助教)

[研究の目的]

外傷性膵損傷は比較的まれな腹部外傷であり、一施設での症例に限りがあるために現在までまとまった報告がなく、コンセンサスの得られた診断・治療アルゴリズムや術式選択はいまだ確立されていません。本研究では、外傷性膵損傷症例に関する全国アンケート調査を行うことで、診断方法、治療方針、手術術式、術後短期・長期合併症などを明らかにし、本邦における外傷性膵損傷の診断・治療指針作成にむけての基礎データとすることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

外傷性膵損傷の患者さんで、平成18年1月1日から平成28年12月31日の間に、当院に通院・入院された方。

○利用する診療情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査など）、治療方法、その後の経過等。

[浜松医科大学からの診療情報の提供]

当院所持の診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、電子メールを使用して、当院より研究代表施設の香川大学医学部附属病院へ提供されます

[研究組織]

香川大学医学部附属病院 消化器外科 <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/~surgery/>
日本腹部救急医学会参加施設 358 機関 <http://plaza.umin.ac.jp/jaem>

[研究代表者]

香川大学医学部附属病院 消化器外科 鈴木康之

[浜松医科大学からの診療情報提供における責任者]

浜松医科大学医学部附属病院 第二外科 森田 剛文

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

静岡県浜松市東区半田山 1-20-1

浜松医科大学医学部附属病院 第二外科 担当医師 武田真

電話 053-435-2279 FAX 053-435-2273